

令和5年度 学校評価（最終）について

- 1 対 象 : 本校教職員 72人（管理職，特別支援学校看護師を除く）
- 2 実施期間 : 令和5年12月4日（月）～令和5年12月22日（金）
- 3 内 容 : 16の評価項目（7のカテゴリー）
 - ※ カテゴリーは，学校経営方針との関連で設定
 - ※ カテゴリー内に複数の「評価項目」を設定する。評価項目は，「重点取組事項との関連で設定するもの」（重点）と「それ以外のもの」（通常）で構成する。

4 評価方法

- ア 4段階評価「A・B・C・D」（表1，表2参照）
- イ 評価（判断）が困難な項目に関しては，「無回答：N」とする。

表1 評価基準表①

評価	評価基準
A	（実施「済」，かつ，ねらい「十分達成」） ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの80%以上が達成されている。
B	（実施「済」，かつ，ねらい「まあまあ達成」） ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの50%以上80%未満が達成されている。 （実施：「未」，かつ，計画性「十分」） ○ 今後，実施予定の取組（現段階では計画進行中のため未実施である）に関する計画が，現時点で年度初めの分掌計画に基づき，係での検討や職員への提案・周知がなされ，進められている。
C	（実施：「済」，かつ，ねらい「やや未達成」） ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの20%以上50%未満が達成されている。 （実施：「未」，かつ，計画性「やや十分」） ○ 今後，実施予定の取組（現段階では計画進行中のため未実施である）に関する計画が，現時点で進められつつある。
D	（実施：「済」，かつ，ねらい「未達成」） ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，現時点でねらいが19%未満達成されている。 ○ 予定された取組が，実施時期を逃して未実施の状況にある。 （実施：「未」，かつ，計画性「不十分」） ○ 重点取組事項の具体的な取組が，校務分掌の係業務として年間計画（校務分掌報告会資料）に反映されていない。（年度当初から計画されていない。） ○ 大幅な改善が必要である。
N	○ 実施状況や計画の進捗よくが「分からない」若しくは，上記の判断ができない場合は「N」と回答する。 無回答。

表2 評価基準表②

有 ← 実施の有無 → 無

達成↑ねらい達成状況↓未達成		実施 （実施済み～取組進行中）	未実施 （計画進行中～今後実施）
	80%～100% 達成	A	B
	50%～80%未満 達成	B	C
	20%～50%未満 達成	C	D
20%未満 達成	D		

すでに実施済みの取組や進行中の取組に関しては，こちらの基準（4段階）で評価する。

今後，実施予定の取組や現在計画進行中の取組に関しては，こちらの基準（3段階）で評価する。※未実施ということで，「A」は付かない。

5 集計結果について

(1) 回収率：89%（64人）（管理職，特別支援教育看護師は除く）

(2) 課題項目，成果項目について

課題項目，成果項目を次のように設定する。

ア C，Dの評価が全体の20%以上・・・課題項目

イ Aの評価が全体の33%以上・・・成果項目

ウ Aの評価が全体の33%未満・・・成果項目を目指す項目

上段：中間

下段：最終

Aの割合 C, Dの割合

			Aの割合	C, Dの割合
教育公務員としての責任・自覚 (経営方針(1))	① (通常)	・ 学校全体として，人権尊重の教育のもと，教職員として，適切な言動に努めているか？	36.6% 28.1%	0.0% 1.6%
	② (通常)	・ 学校全体として，教育公務員としての責任と自覚をもち，服務規律の厳正確保に努めているか？	62.0% 56.3%	1.4% 0%
業務改善への取組 (経営方針(1)) (県の重点取組事項)	③ (重点)	・ 学校全体として，適正な勤務時間（定時退庁日，時間外勤務月45時間以内）を意識し，やるべきことに優先順位を付け，計画的に業務を行うことができているか？（重点取組(4)）	36.6% 37.5%	7.0% 3.1%
	④ (重点)	・ 学校全体として，教材研究の時間を確保し，データ整理や教材の共有化などの工夫を行いながら，効率的な授業準備がなされているか？（重点取組(4)）	35.2% 23.4%	7.1% 3.1%
安心して学べる教育環境の整備・改善 (経営方針(2))	⑤ (通常)	・ 学校全体として，ヒヤリハット事例を情報共有し，再発防止のための対策や改善策に努めているか？	53.4% 42.2%	0.0% 4.7%
	⑥ (重点)	・ 学校全体として，教室や学習の場，校外の施設などの整備・点検を行い，省エネを意識し，教育環境の改善に努めているか？（重点取組(1)）	32.4% 25.0%	15.4% 10.9%
児童生徒個々の役割の実感・実践につながる教育活動 (経営方針(3))	⑦ (重点)	・ 本校の教育課程は，目指す資質・能力を明確に提示してあるか。（重点取組(3)）	46.5% 37.5%	1.5% 0.0%
	⑧ (重点)	・ 本校の教育課程は，児童生徒個々の役割の実感・実践につながるよう編成されているか？（重点取組(3)）	38.0% 29.7%	2.8% 0.0%
	⑨ (通常)	・ 学校全体として基本的な感染症対策に努め，様々な人的・物的資源の活用方法を工夫しながら，教育活動に取り入れることができたか。	52.1% 56.3%	1.4% 0.0%
一人一人の教育的ニーズに応える指導の充実 (経営方針(4))	⑩ (重点)	・ 学校全体として，一人一人の教育的ニーズを踏まえ，個別の指導計画を活用した授業づくりを行っているか？（重点取組(2)）	38.0% 32.8%	2.8% 1.4%
	⑪ (重点)	・ 学校全体として，教師間で目標や評価，今後の改善点等を共有しながら，授業実践及び学習評価の充実が図れているか？（重点取組(2)）	38.0% 31.3%	1.4% 0.0%
家庭・関係者（機関）等との協力・連携 (経営方針(5))	⑫ (重点)	・ 学校は，進路先の課題に基づく指導内容・指導方法の見直しをしながら，各学部における進路指導に努めているか？（重点取組(5)）	38.0% 31.3%	2.8% 3.1%
	⑬ (重点)	・ 学校全体として，将来の自立と社会参加に向け，児童生徒が自己選択・自己決定する機会の充実を図っているか？（重点取組(5)）	40.8% 34.4%	1.4% 1.4%
	⑭ (重点)	・ 学校全体として，児童生徒の健康の保持・増進（食に関する，歯磨き指導，運動の習慣化等）のための取組を家庭と連携して行っているか？（重点取組(1)）	35.2% 37.5%	2.8% 2.8%
本校における教育活動の理解・啓発 (経営方針(6))	⑮ (重点)	・ 学校は，センター的機能の充実を図るための取組（巡回相談，学校見学）を企画・運営し，本校の教育活動の理解・啓発や各学校間の学びの連続性の強化に努めているか？（重点取組(6)）	74.6% 59.4%	0.0% 0.0%
	⑯ (重点)	・ 学校は，ホームページの定期的な更新を行い本校の教育活動の理解と啓発に努めているか？（重点取組(6)）	25.4% 38.7%	2.8% 1.4%

6 集計結果を受けて

評価の数値や記述の内容を参考にし、最終評価に向けて重点的に取り組む項目を絞ったり、改善に向けた具体策を考えたりする。また来年度の学校経営方針や重点取組事項について検討を行う。

ア C, Dの評価が20%以上の項目

※ 課題項目のため具体的な対応が必要な項目と考える。 → ※該当項目なし

イ Aの評価が33%以上の項目

※ 成果項目ととらえ、さらにこの調子で取り組んで行く。 → ※9項目/16項目中

ウ Aの評価が33%未満の項目

※ 成果項目を目指す必要があると考える。 → ※7項目

- ① 学校全体として、人権尊重の教育のもと、教職員として、適切な言動に努めているか？
- ④ 学校全体として、教材研究の時間を確保し、データ整理や教材の共有化などの工夫を行いながら、効率的な授業準備がなされているか？（重点取組(4)）
- ⑥ 学校全体として、教室や学習の場、校外の施設などの整備・点検を行い、省エネを意識し、教育環境の改善に努めているか？（重点取組(1)）
- ⑧ 本校の教育課程は、児童生徒個々の役割の実感・実践につながるよう編成されているか？（重点取組(3)）
- ⑩ 学校全体として、一人一人の教育的ニーズを踏まえ、個別の指導計画を活用した授業づくりを行っているか？（重点取組(2)）
- ⑪ 学校全体として、教師間で目標や評価、今後の改善点等を共有しながら、授業実践及び学習評価の充実が図れているか？（重点取組(2)）
- ⑫ 学校は、進路先の課題に基づく指導内容・指導方法の見直しをしながら、各学部における進路指導に努めているか？（重点取組(5)）

7 学校経営方針項目ごとの評価

※○内の番号は、関連する評価項目番号、●内番号は、成果項目を目指す項目番号

項目
(1) 公教育の基盤に立ち、人権尊重の教育のもと、教育公務員としての責任を自覚し、業務改善、教職員相互の信頼と協力により、心豊かにたくましく生きる人間を育成する ①②③④
(2) 保健、衛生及び安全管理の徹底を図り、児童生徒が安心して学べる教育環境を整備する。⑤⑥
(3) 新学習指導要領における育成を目指す「資質・能力」の3つの柱を踏まえ、持続可能な社会の実現のために児童生徒個々の役割の実感・実践につながる教育課程を編成する。⑦⑧⑨
(4) 児童生徒の的確な実態把握と分析による適切な個別の指導計画を作成し、一人一人の教育的ニーズに応える指導を行う。⑩⑪
(5) 家庭や児童福祉施設、近隣の幼・保・小・中・高等学校、地域社会及び関係機関との協力・連携を密にし、教育効果の向上と指導・支援の共有化を図る。⑫⑬⑭
(6) インクルーシブ教育の推進に向けて、大島地区唯一の特別支援学校としてセンター的役割を充実させ、特別支援教育の理念の浸透と本校教育活動の理解・啓発を推進する。⑮⑯

8 重点取組事項項目ごとの評価

※○内の番号は、関連する評価項目番号、●内番号は、成果項目を目指す項目番号

重点取組事項
(1) 安心・安全で学びやすく健康的な教育活動の整備・充実 ⑥⑭
(2) 児童生徒の能力や特性等を踏まえた適切な教育の追究 ⑩⑪
(3) 目指す資質・能力とともに、社会のニーズを踏まえた適切な教育の追究 ⑦⑧
(4) 教職員相互の信頼・協力を基盤とした働きやすい環境の改善・整備 ③④
(5) 関係機関との連携強化による教育効果の向上 ⑫⑬
(6) 特別支援教育のセンター的機能の充実 ⑮⑯

9 保護者・学園職員による評価

- (1) 対象 : 本校の保護者109人(戸), 学園職員10人
- (2) 実施期間 : 令和5年12月4日(月)～令和6年1月9日(火)
- (3) 内容 : 11の評価項目
- (4) 評価方法 : 4段階評価「4・3・2・1」と「0」

「4 : そう思う」「3 : ややそう思う」「2 : あまりそう思わない」
 「1 : そう思わない」「0 : 分からない(見えてこない)」

(5) 集計結果

(ア) 回収率 : 73.1% (87人) 昨年度83.5%

(イ) 項目ごとの集計結果について

【高い評価項目】:(平均値)

- ① 学校は, 児童生徒, 職員共に楽しく生き生きと学べる場になっていると思いますか?→ (3.63)
- ② 学校は, 一人一人の教育的ニーズに応じて, 児童生徒の良さや可能性をのぼすための教育が行われていると感じますか?→ (3.61)
- ⑨ 本校の職員は, 児童生徒に寄り添いながら教育活動を行っていますか?→ (3.62)
- ⑩ 本校の職員は, 児童生徒のことで連絡や相談をしたときに適切な対応を行っていますか?→ (3.68)

【低い評価項目】:

- ⑧ お子さんの主体性が, 以前よりも育ってきたと感じますか? (自分から考えて行動する姿や意思表示, 自我の芽生え等) → (3.52)

令和5年度 学校評価(保護者・学園)結果

<評価基準> 4:そう思う 3:ややそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない 0:分からない

評価項目	評価の視点	平均値	評価(内訳)					計	
			4	3	2	1	0		
1	目指す学校像	学校は, 児童生徒, 職員共に楽しく生き生きと学べる場になっていると思いますか?	3.64	57	28	2	0	0	87
2		学校は, 一人一人の教育的ニーズに応じて, 児童生徒の良さや可能性をのぼすための教育が行われていると感じますか?	3.61	58	24	5	0	0	87
3		学校は, 児童生徒一人一人がもてる力を存分に発揮できる場になっていると思いますか?	3.55	53	30	3	0	1	87
4		学校は, 保護者や地域と力を合わせて, 教育活動を行っていると思いますか?	3.59	56	29	0	1	1	87
5		学校は, 将来の進路の選択のために必要な情報を提供していますか?	3.56	53	30	3	1	0	87
6	目指す児童生徒像	お子さんは, 以前よりも生活に活用できる力が身に付いてきたと感じますか?(新たにできるようになったこと, 得意なこと, 好きなことの活用等)	3.56	54	27	6	0	0	87
7		お子さんは, 自分らしく学校生活を送っていると感じますか?	3.53	55	26	3	3	0	87
8		お子さんの主体性が, 以前よりも育ってきたと感じますか?(自分から考えて行動する姿や意思表示, 自我の芽生え等)	3.52	54	26	5	2	0	87
9	目指す教師像	本校の職員は, 児童生徒に寄り添いながら教育活動を行っていますか?	3.63	60	23	3	0	1	87
10		本校の職員は, 児童生徒の発達段階や本人・保護者の願いを踏まえ, 教育活動を行っていますか?	3.58	57	23	7	0	0	87
11		本校の職員は, 児童生徒のことで連絡や相談をしたときに適切な対応を行っていますか?	3.68	63	20	4	0	0	87

10 分析

(1) 教職員による自己評価の結果について

- 課題項目（0項目／16項目中）
- 成果項目（9項目／16項目中）
- 成果項目を目指す項目（7項目／16項目中）

中間評価と比較すると、A評価の割合が全体的に下がっているものの、C・D評価の割合は改善されているものが多かった。

A評価の割合が上がった項目として、

「③ 学校全体として、適正な勤務時間（定時退庁日、時間外勤務月45時間以内）を意識し、やるべきことに優先順位を付け、計画的に業務を行うことができているか？」

「⑨ 学校全体として基本的な感染症対策に努め、様々な人的・物的資源の活用方法を工夫しながら、教育活動に取り入れることができたか。」

「⑭ 学校全体として、児童生徒の健康の保持・増進（食に関する、歯磨き指導、運動の習慣化等）のための取組を家庭と連携して行っているか？」

「⑯ 学校は、ホームページの定期的な更新を行い本校の教育活動の理解と啓発に努めているか？」

の4項目が挙げられる。

③の項目については、個人で、勤務時間を意識した業務の効率化を図ったり、教員間での割り振りや協力を行ったりするということが大きいと考えられる。

⑨の項目については、ゲストティーチャーを活用した授業が行われたこと、冬場になり手洗いうがい、換気など感染症対策が意識して行われたことなどが要因として考えられる。

⑭については、日々の連絡帳を活用した家庭とのやり取りに加え、校医（歯科）による歯磨き教室や養護教諭と連携して授業を行ったことが成果につながっていると考えられる。

⑯については、行事の担当者へ、教務より掲載の呼び掛けを行い、多くの記事が掲載されたり古い記事が更新されたりしたことが考えられる。

中間評価と比較すると、成果項目を目指す項目（Aの評価が全体の33%未満）、が増えた結果となった。項目として、

「① 学校全体として、人権尊重の教育のもと、教職員として、適切な言動に努めているか？」

「④ 学校全体として、教材研究の時間を確保し、データ整理や教材の共有化などの工夫を行いながら、効率的な授業準備がなされているか？」

「⑥ 学校全体として、教室や学習の場、校外の施設などの整備・点検を行い、省エネを意識し、教育環境の改善に努めているか？」

「⑧ 本校の教育課程は、児童生徒個々の役割の実感・実践につながるよう編成されているか？」

「⑩ 学校全体として、一人一人の教育的ニーズを踏まえ、個別の指導計画を活用した授業づくりを行っているか？」

「⑪ 学校全体として、教師間で目標や評価、今後の改善点等を共有しながら、授業実践及び学習評価の充実が図れているか？」

「⑫ 学校は、進路先の課題に基づく指導内容・指導方法の見直しをしながら、各学部における進路指導に努めているか？」

が挙げられる。

①については、人権教育について職員間で考える機会（職員研修や学部会、かしこまらずに語り合える場面等）を増やしていく手段を考えたり、研修を通して人権教育について理解できるよう、反省点を生かして計画を立てたりする必要があると考える。

④について、水曜日、金曜日の放課後は教材研究の日として全体での会議をなるべく入れないようにしているが、行事や委員会の重なり等により難しい時期もあるのが現状である。データ整理についても、学習指導法係を中心に整理されてはいるが、授業に関するデータを整理し、次年度に向けて活用しやすくしていく必要があると考える。

⑥については、予算の関係上、いつでもエアコンが使用できるようにというのは難しい現状である。これまで同様のルールで、省エネを意識しながら、扇風機やサーキュレーター等も活

用して対応していく。同じ設定温度でも教室によっては、効きにくいところもあるので、その場合は事務室に報告し、点検をしてもらうようにする。

⑧については、それぞれの教科等で、地域の特色を生かしたり、体験的な内容をもりこんだりして工夫を重ねている。A評価の割合が低くなっているが、CD評価はなかった。個々の役割の実感、実践＝児童生徒が主体的に学ぶ姿ととらえ、日々の授業の中でさらに意識付けをしていく必要があると考える。

⑪については、A評価が33%を若干下回り、成果項目をめざす項目となった。個別の指導計画を定期的に活用しながら授業作りを行ってはいたり、保護者と連携を取りながら指導を進めていたりすることができているという意見もあり、学期ごとに設定されている定例ケース会の活用をより意識する必要があると考える。

⑫についても、A評価が33%を若干下回り、成果項目をめざす項目となった。進路便り（年6回）の配付や、実習の様子を写真で掲示する、高等部生が小学部生に教えるおそうじ教室など、各学部の進路学習の取組を周知し、職員がより進路指導について知った上で児童生徒の指導に当たることができるよう今後も計画していく必要があると考える。

⑧・⑪の項目については、A評価の割合は下がったものの、CD評価は0.0%である。他の項目についてもA評価が下がったものの、CD評価は4%未満の項目が大半である。

最終評価でA評価が下がった要因として、B評価（達成状況50%～80%）、N評価（評価（判断）が困難）の割合が増えたことも要因の一つと考えられる。N評価は16項目の平均で中間評価は1.7%（1～3人）、最終評価は6.9%（3～7人程）と増加した。N評価の回答が少なくなるように、今後の具体的な取組を充実させていく必要がある。

(2) 保護者・学園職員による評価の結果について

全体的に高い評価をいただいた。特に平均値が高かった項目としては、

「①学校は、児童生徒、職員共に楽しく生き生きと学べる場になっていると思いますか？」
(3.63)

「②学校は、一人一人の教育的ニーズに応じて、児童生徒の良さや可能性をのばすための教育が行われていると感じますか？」(3.61)

「⑤学校は、将来の進路の選択のために必要な情報を提供していますか？」(3.71)

「⑨本校の職員は、児童生徒に寄り添いながら教育活動を行っていますか？」(3.62)

「⑪本校の職員は、児童生徒のことで連絡や相談をしたときに適切な対応を行っていますか？」((3.68)

が挙げられる。一方で、一番評価平均値が低かった項目として、

「⑧お子さんの主体性が、以前よりも育ってきたと感じますか？（自分から考えて行動する姿や意思表示、自我の芽生え等）」(3.52)

が挙げられる。児童生徒の成長についての情報共有を学校と家庭間、学園間でより一層綿密に行っていくことも今後の課題と言える。

自由記述欄には、本校に通ってよかった、毎日学校を楽しく過ごしている、とても感謝しています、といううれしい内容のコメントも多くいただいた。

- ・ 4月の頃と比べ、身体はもちろんですが、できることがたくさん増え、心の成長も大きく感じられます。毎日、学校に行くことを楽しみに毎日笑顔が見られるので、支援学校に入学し本当によかったと感じています。

- ・ 先生方にはいつもお世話になってばかりですが、おかげさまで子供も学校生活を思う存分楽しめていると思います。本当にありがとうございます。

- ・ のびのび学校生活を送ることができていると思います。いつも本当にありがとうございます。

- ・ 感謝しかありません。

今後の課題として、以下のような御意見もいただいた。

- ・ 情報伝達が行き届いていないと感じる。学部のみならず、学部を越えて生い立ち等を含めた発達特性の理解をしていただけたら助かる。

11 来年度に向けた具体的取組

業務改善の推進

- ① 効果的な授業準備（教材・教具の共有化，データ整理）
 - ・ 使用した教材や指導内容の記録などを保存する場所を確認の上，それぞれの職員でデータや教材の保存をしていくようにする。また，過去の教材についても，データ内で活用しやすい場所に保存を行う。
 - ・ 校務分掌係会などを通して，係内で業務の見直しや改善できる点を探りながら，業務削減や改善へつなげていく。
- ② 教材研究の時間の確保
 - ・ 毎週水・金の放課後に設定する。職員全員に関わる会議等は，できる限りこの日には設定をしないようにする。設定する場合は，週内で教材研究の時間を調整する。また，行事予定の中で，空いている時間も教材研究の時間として設定するようにし，教材研究の意識を高める。また，教材研究の日と併せて，月に1，2回程度，係会の日も設定し，授業研究や校務分掌等の係会等が行いやすいようにする。
- ③ 公平な業務分担
 - ・ 時間割係や学部主事から提案された行事や授業担当割り振りについて，各学部，学年部で授業・行事担当に量的・時期的な偏りがないうえを確認する。
 - ・ 校務分掌においても，計画の際に係内で業務の割り振りを行い，偏りがないうえに進めていく。

教育環境の改善

- ① 省エネへの取組
 - ・ 使わない教室の電気，扇風機等は消す。使用していない充電プラグは抜き，タブレットへの過充電は行わないようにする。
 - ・ 夏場の冷房使用については，児童生徒下校後や休業中など冷房の使用場所を限定して使用する。効きの悪い教室については，事務と連携する。
 - ・ ペーパーレス化を進め，職員会議資料などは引き続きデータにて配付する。反故紙については裏面の活用を行う。
- ② 施設設備について
 - ・ 月1回設定されている安全点検日などを通して，修繕した箇所があれば報告を行い，全職員への周知をする。

児童生徒に関する情報の共有の充実

- ① 職員間での情報共有
 - ・ 指導計画等検討会，評価検討会を設定する。定例ケース会より名称を改めて，職員の意識の向上を図る。（指導計画等検討会（年6回），評価検討会（年10回））
 - ・ 打ち合わせ等を利用し，職員間での児童生徒に関する情報交換の充実を図る。
 - ・ 指導に関して悩んだときに，何でも相談できるような雰囲気作りに努める。
- ② 保護者との情報共有
 - ・ 毎日の連絡帳での情報提供を行う。
 - ・ 学級便り，学部便り，学校便り，進路指導便り，支援部便り等を通じた情報提供を行う。
 - ・ 教育相談期間を活用し，個別の支援計画について保護者との情報共有を行う。
- ③ 地域，関係機関との情報共有
 - ・ 学園，放デイのお迎え時の情報提供を行う。
 - ・ 学校見学会，学校自由参観週間（県民週間）の設定をする。学校HPや巡回相談，就学相談等で周知を行う。
 - ・ 様々な関係者による学校見学の推進を図り，HPで周知を図る。

学校での取組の発信，周知

- ① 学校 HP の活用
 - ・ 学校の行事の発信や周知を行うために，定期的な記事の掲載をする。
 - ・ 進路指導の取組について，発信，周知を行う。
- ② 校内グループウェアの活用
 - ・ 職員への発信，周知のために校内グループウェアに情報を載せる。
 - ・ 職員会議で丁寧に説明を行い，議事録をフォルダ内にデータで保存する。

12 学校関係者評価

※ 学校関係者評価委員 5 人の方に，第 3 回学校関係者評価委員会後に評価していただきました。

令和 5 年度学校関係者評価集計結果（3 人回答／5 人中）（3／13 現在）

4：そう思う　　3：やや思う　　2：あまり思わない　　1：思わない

評価項目	観 点	評 定	意 見 等
自己評価の実施に関する評価	○ 自己評価のアンケートは重点目標など具体的な目標や計画を評価する内容になっていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4】 とても細やかな視点で示されており，適切な内容であると思う。
	○ 自己評価のアンケートの内容は学校の取組を客観的に評価できるものになっていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4】
自己評価結果を踏まえた改善策に関する評価	○ 自己評価の結果の分析と考察は適切になされていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4】 とても詳しく分析されており，感心しました。
	○ 自己評価の結果は，学校経営の改善に役立つものになっていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4】
	○ 自己評価結果を踏まえた今後の改善策は明確に示されていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4】
学校関係者評価委員会に関する評価	○ 学校関係者評価委員会の資料は，わかりやすくまとめてあり不備はなかったか。	4. 0	【4. 4. 4. 4】 ・いつも学校関係者評価委員会に気持ちよく参加させていただきました。資料も豊富に分かりやすいものでとても参考になりました。
	○ 学校関係者評価委員会は活発な意見交換を行う環境(雰囲気)であったか。	4. 0	【4. 4. 4. 4】 ・先生方と良い雰囲気で見聞交換ができました。 ・委員からの質問に対しても各担当係の先生方が誠実に答えてくださり，ありがたかったです。
その他 (自由記述) 評価委員会 で知りたい ことなど についても 御意見を ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最後の評価委員会に出席できず，とても残念です。学ぶことがとても多く，貴重な時間となりました。今後ともよろしくお願いたします。 ・ 保護者や学園からの声があるように，子供たちの成長にとっても感謝していることは，日頃から学校の先生方の取り組みの成果だと思います。授業参観での子供たちの様子ものびのびととても良い環境だと思います。多くの離島や遠い場所の子供たちも学べる環境があればと思います。 ・ 一年間ありがとうございました。子どもも大人も元気をもらえました。 		